

# 観光復活へアプリで発信

## YVB、体験キャンペーンも

八重山ビジネスニューロー（YVB、中山義隆会長）は21日午後、市役所で記者会見し、八重山の観光法を発信するアプリ「八重山アプリ」の色、無限定の配信開始を発表した。新型コロナウイルスで落ち込む観光経済の復活を目指す取り組みで、アプリ加盟店の利用は24日から可能。ポイントを利用者に往復航空券などが当たる体験キャンペーンを来月1日～31日まで実施する。

石垣市、竹富町、与那国町の協同事業で、㈱サカヤカド（所在地東京、斉川満代表取締役社長）の共通ポイントシステムを利用し、加盟店や同システムを利用した宮城真汽船泊の観光アプリ



アプリの配信発表記者会見を開いた中山市長（左）とYBVの金城敬事務理事（右）、石垣市役所



マルシェを楽しむ松川さん（右）と小西さん（左）＝20日、名蔵公民館

「クルーシップ」や竹富町のポイントカード「ピカリヤカード」の成功例が背景だ。

3市町の加盟店を利用すると100円あたりのポイントが貯まり、ポイントは加盟店や同社のショッピングサイトで利用できる。ポイントは獲得した翌年12月に失効されるが、失効後はYVBに寄付される。

八重山地区約150カ所の観光情報やお得情報が確認でき、4カ国語対応の通訳機能も付いている。アプリは21日からインストールが可能。24日から加盟店での利用が始まる。

来月1日から31日まで実施される体験キャンペーンでは、該当する8項目でポイントを獲得した利用者に新石垣空港や与那国空港発着の往復航空券（日本トランスオーシャン航空・琉球エアージェット）提供、1などの豪華賞品が当たる。対象の体験項目は①マリナクティビティ②ツアー③文化・芸能体験④飲食利用⑤離島訪問⑥展望台訪問などの風情体



八重山アプリ 無制限のQRコード

陶芸体験の工場を視察。加盟店は現在、離島を含め20店舗。希望すれば

タブレット端末が配布され、アプリを通しての情報発信や集客が期待できる。システム利用として毎月2000円と売上の2～3%を同社に支払う。新型コロナ対策を徹底していることが加盟条件。



八重山日報社の2021年カレンダー表紙写真を撮影した宮地竹史さん

## 浦添君、全国大会出場

全国の小学生を対象としたロボットコンテスト「第2回小学生ロボコン2021全国大会」(主催・NHKエンタープライズ、科学技術館)のオンライン予選会が19日行われ、プログラム教室「コター道場石垣」に通う、平真小学校5年の浦添君(10)が高学年部門で全国大会出場を決めた。浦添君は昨年、続いて2年連続の全国大会出場となる。

## 小学生ロボコンに意気込む



浦添君は、競技に挑戦するロボット競技の様子や自己アピールの動画による一次審査通過者が対象。自宅と審査員をオンラインで繋いだライブ映像で審査された。

一次審査同様、課題は家のどこかにスタート地点を設け、同地点から30センチ以上の高さの場所にゴールを設定し、ゴールの高さとゴール達成へのアイデアを競うもの。

## 環境に優しく経済活性化 島の産物を名蔵で販売

島の自然環境に配慮して作られた農作物や飲食、雑貨などを販売する「しまのしぜん」を主催するマルシェ(主権・石西珊瑚サンゴ礁募金)が20日、名蔵公民館の屋内外で開催された。来場者にはマイバックやマイ箸(はし)の持参が呼び掛けられ、ごみを出さない配

慮もされた。出店したのは、地元で無添加野菜を育てる寄川友子さん(63)や、微生物の力で汚れを落とす天然洗剤などを販売する伊原間のお店「UkA(ウカ)」など15店舗以上。

「UkA(ウカ)」のオーナー森綱子さん(36)は、「ホテルなどの観光施設も天然洗剤を取り入れ始めている。魅力たっぷりのこの島を

『エコアイランド』としてさらに盛の上げた」と意気込んだ。公民館の調理場で作ったフードの販売やコンサート、体験ワークショップ、不用品交換も行われた。エコたわしを見つけた松川泉さん(53)は「石垣は、捨てるのではなくこのような場所に提供すればいいんだと勉強になった」と答え、友人の小西田美さん(52)は「同様に、大好きな本を7冊も持って帰られて嬉しい」と笑顔を見せた。マルシェは、環境に優しい取り組みを行う事業と期待した。